

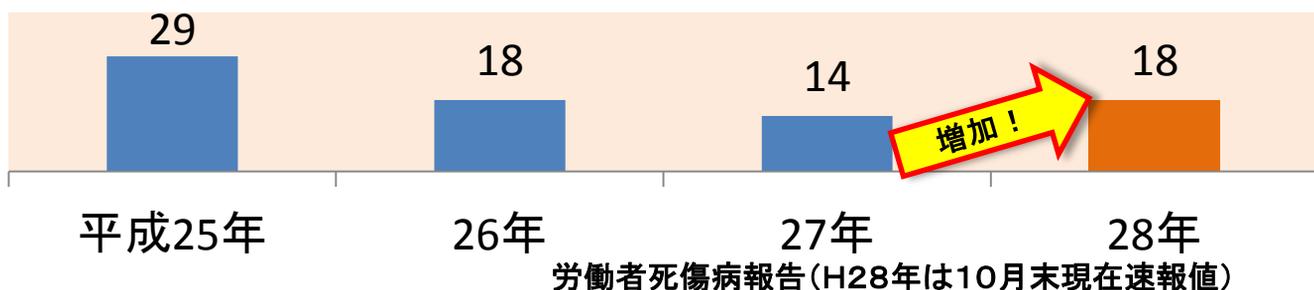
保健衛生業の災害が急増しています！

本年に入り、王子労働基準監督署管内（北区内）の保健衛生業の事業場における労働災害が多発しています。

その中でも発生件数の多い「転倒災害」、「自転車使用時の交通事故等」、「動作の反動・無理な動作による腰痛災害など」について、災害の傾向と災害防止のポイントをまとめましたので、事業場における労働災害防止活動に活用してください。

労働災害発生状況

保健衛生業における休業4日以上災害発生件数の推移（北区内）



*保健衛生業における休業4日以上労働災害は、ここ数年減少傾向でしたが、平成28年は増加に転じ、10月末現在で18件と、既に昨年を上回る件数となっています。

事故の型別発生ワースト5 平成25年以降発生79件の内訳

事故の型	件数	%
事業場内における転倒災害	20	25
自転車使用時における転倒・交通事故	15	19
動作の反動・無理な動作による負傷災害（災害性の腰痛を除く）	13	16
災害性の腰痛	10	13
激突災害	8	10

事業場内での「滑り」等による転倒災害が全体の25%を占めています。

また、自転車を使用して移動中の転倒、介助中での動作の反動や無理な動作を原因とした捻挫や災害性腰痛が多く発生しています。

災害事例と対策は裏面に

安全の担当者＝「安全推進者」を配置しましょう

安全管理者等の選任義務が無い業種の事業場における労働災害が増加していることから、事業場での安全管理体制を充実させることを目的に「労働安全衛生法施行令第2条第3号に掲げる業種における安全推進者の配置等に係るガイドライン」が示されました。

常時使用する労働者が10人以上の事業場について、1人以上、「安全推進者」の配置をお願いします。

もっと詳しく！

安全衛生情報センター 安全推進者配置 ガイドライン

検索

安全推進者の活動内容

- 1 職場環境及び作業方法の改善に関すること
- 2 労働者の安全意識の啓発及び安全教育に関すること

このリーフレットの内容についてのお問合せは、王子労働基準監督署第二方面までお願いします。 ☎03 (6679) 0186

保健衛生業における災害事例と災害防止のポイント

ストップ！ 転倒災害

災害事例

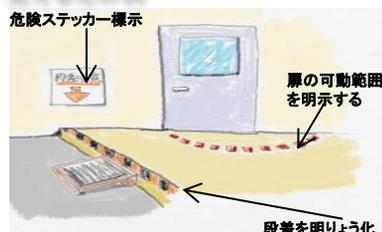
「滑り」、「つまづき」、「踏み外し」が典型的な発生パターンです。また、両手荷物持ちや、足元が暗い等、ちょっとしたことが原因でも発生します。

概要	起因物	年齢	経験
床が水で濡れているのに気付かずに、足を踏み入れ転倒	作業床	50歳代	5年以上 10年未満
利用者宅の階段で足を滑らせて転倒	階段	60歳代	5年以上 10年未満
通用口で防火扉に躓いて転倒	通路	50歳代	5年以上 10年未満

災害防止対策のポイント

- 通路などの段差・凸凹・突起物・継ぎ目の解消
- 4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底
- 照度確保、手すりやすべり止めの設置
- 危険箇所の表示など、危険の「見える化」
- 転倒防止のための安全な歩き方、作業方法励行

見える化の例



危険ステッカーの例



もっと詳しく！ STOP！ 転倒災害プロジェクト

全業種での労働災害でもっとも多い転倒災害。その増加抑止に向けたさまざまな対策を紹介しています。

STOP！ 転倒

検索

ストップ！ 自転車使用時における転倒・交通事故

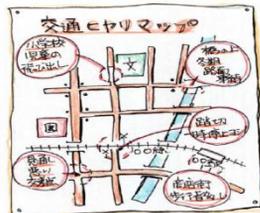
災害事例

訪問介護等で、自転車を使用して利用者宅への移動中での災害も多く発生しています。他の車両との交通事故のほか、路面の段差を越えられず自転車ごと転倒するといった事例も発生しています。

概要	年齢	経験
交差点を横断中、右方から進入した自動車と接触した	40歳代	1年以上 5年未満
雨で濡れた路面を走行中、側溝の蓋で横滑りし、転倒した	20歳代	1年未満
交差点を左折する際、路面に積もった雪でハンドルを取られて転倒	70歳代	10年以上 20年未満

災害防止対策のポイント

- 交通ルールとマナーの教育
- 交差点における一時停止・安全確認の徹底
- 走行前の前照灯・ブレーキ等の点検実施
- 滑りやすい箇所を通行する際は、自転車から降りる等、危険の事前回避行動
- 危険箇所を記した交通ヒヤリマップの作成



交通ヒヤリマップの例

もっと詳しく！ 交通労働災害防止のためのガイドライン

自動車等を使用する事業者向けに交通労働災害防止のために必要な配慮を示したものです。

交通労働災害防止のためのガイドライン

検索

ストップ！ 動作の反動災害・腰痛災害

災害事例

前屈や中腰姿勢での要介護者の抱え上げ等、動作の反動や無理な動作による災害のほとんどは、介護者のサポート作業で発生しています。

概要	年齢	経験
利用者を便座から車いすに移乗するため身体を抱えて立ち上がった際、腰を捻った	20歳代	5年以上 10年未満
倒れた利用者を後ろから抱きかかえて引き起こそうとした際に腰を痛めた	60歳代	1年未満
利用者が転倒しそうになり、支えようと足を出した際に、足首を捻挫した	60歳代	10年以上 20年未満

災害防止対策のポイント

- 介護対象者の身体機能や動作能力の把握と介助への協力をお願い
- スライディングボードなど福祉用具の活用
- 作業人員や作業姿勢の見直し
- 温湿度や照明、段差等の作業環境の整備
- 作業前のストレッチや腰痛予防体操の導入

もっと詳しく！ 職場における腰痛予防対策指針

事業者による腰痛予防のための労働衛生管理の方法について示しています。

職場における腰痛予防対策指針

検索



スライディングボードを使用した車椅子への移乗作業の例